



小金井 2014.3/1 No.431 月刊 こうみんかん

編集・発行 小金井市公民館 小金井市中町4-15-14 TEL042-383-1184

起きます！ 起こせます！
あなたの想いを！
見つけよう！ 僕・私！
仲間へのメッセージを、
この場所で！！

第51回東京都公民館研究大会が開催される 「公民館の魅力を探る」

この大会は、東京都公民館連絡協議会が主催し、公民館や生涯学習センター等、社会教育関係の行政組織の参加で毎年開催されています。参加者は公民館関係者や社会教育関係者がそのほとんどですが、中には公民館等の利用者の方もいます。課題別に分かれて、午前事例発表を開き、助言者からのテーマに則した討議提起を受け、午後はグループでのディスカッションから発表というのが主な流れです。

グループ内には、他市の職員、公民館運営審議会委員等様々な立場の人がいますので、色々な考え方や事例にふれることができ、刺激を得ることができます。

今回は国分寺市の3会場（本多公民館、国分寺Lホール、光公民館）での開催となりました。

各会場に参加した3人の企画実行委員の報告です。



第1 課題別集会（東大和市公民館担当）

テーマ「シニアの力で公民館が変わる」

助言者：石井山竜平氏

（東北大学大学院教育学研究科准教授）

初めに3つの事例報告です。地域住民が立ち上げた防災協議会の取り組みと公民館を拠点とした街づくり懇談会との連携で安全安心のまちづくりを目指す事例。夏休み中、公民館を子供達の居場所として作り出し、利用者の大人達とイベントを開催、一緒に活動体験することで公民館は楽しく、行きたいところと思ってもらいたいとの事例。公民館のやりがい講座からブログを立ち上げ、地域の情報を発信、交流ができる市民ネットを目指す事例。いずれもパワフルなシニアの力があつての活動だと思えました。

午後は「どういう公民館を育てていくか」を主にグループ討議を行い、発表ではコーディネーター的役割、シニアの力をいかに取り入れるか、職員の資質の向上と課題も出されました。

最後に、助言者から学んでいる職員を評価することも、すぐに成果ではなくその段階が大切。子どもや大人が学んでいることを互いに観る、若者を地域の中で長期的に育てるつもりで取り組む、伝えたいメッセージが必ずあるはずである、とまとめがありました。

第2 課題別集会（町田市生涯学習センター担当） テーマ「障がいをもつ市民の学びの場について」

助言者：小林繁氏（明治大学教授）

町田市の公民館職員の方より本日の配付資料の確認と趣旨の説明後、各市の事例発表開始。

事例① 国分寺市公民館職員の方の発表。市内3か所にて活動している『くぬぎ教室』の活動内容・今後の課題について発表。

事例② 国立市公民館内で活動している市民ボランティアの方の発表。障がいをこえて共に自立する会の行う障がい者青年教室「喫茶実習（わいがや）」についての発表。

事例③ 西東京市職員と障がい者の方とボランティアの方とのインタビュー形式での活動内容等と今後についての発表。

事例④ 町田市の『とびたつ会』と公民館職員やスタッフによる歌と呼び掛けによる発表。

その後、休憩を挟んで質疑応答や小林教授の各事例発表についての助言と論点整理後、グループ分けされた各班で討議してからグループ発表後終了。

第3 課題別集会（昭島市公民館担当）

テーマ「公民館ってなんだろう

～役割をみんなで考えてみよう～

助言者：大串隆吉氏

（東京都立大学・首都大学東京名誉教授）

公民館研究大会は、私にとって非常に意義ある大会であり、得ることのできた知識も少なくなかった。大串教授による「公民館は戦後に発足し、当初は民主主義の訓練の場であったり、結婚式などが行われ男女平等の精神の場であったり、原水爆禁止運動の砦であった」等の公民館の歴史の話は興味深かった。

新しい公民館として、四つの役割、七つの原則、目指すべき方向、教育機関としての位置付けなど認識を新たにした。公民館で学習することの意義についても学んだだけでなく、それをどう活かすかが大事である点。その事例としてA市のグループワークの発表は非常に臨場感があり、今後の参考になる内容であった。

ディスカッションの部では、公民館の役割はなんだろうとの質問に、参加者から「地域・つどい・学び・きずな」のキーワードが出て、それぞれ表現方法は違っていたが、共通して理解されていると感じた。

大会の中で印象的だったことは、「人は学習することのなかで二つの発見がある。一つ目は、やりたいこと。二つ目は、やらねばならないこと。この二つの発見ができるかどうかである」という話である。公民館の役割は、この二つの発見をする場として事業を展開していくことだと思った。新しい社会的価値を発見するためにもマンネリから脱却をし、新しいことを勇気を持って実行していく必要があると強く感じた。



募集

成人学校

「野川を歩く」

東分館

国分寺市に源を発し、小金井市、三鷹市等6市区を流れるその流路を2回に分けて歩きます。

歩行距離は1回約15キロ、合計30キロです。

下流に向かうにつれて変わりゆく野川の魅力を堪能しながらウォーキングの知識と技術を学びます。

合流点の河原に立つ感動は格別です。

その達成感をかみしめ、野川の素晴らしさと自然の大切さを改めて胸に刻んでください。



※両日ともご参加いただける方を優先します。

※予備日 4月19日(土)、26日(土)

※雨天の場合、順次繰り延べします。

とき

第1回 4月6日(日) 午前9時～午後3時
国分寺市から二枚橋を経て東分館まで。

第2回 4月12日(土) 午前9時～午後2時頃
二枚橋から多摩川合流点(二子玉川)まで。

講師 横山一夫さん・大井博俊さん
(ウォーキング協会指導者)

対象 市内在住・在勤・在学で1回につき約15キロを通して歩ける方

定員 20人(多数の時は抽選)

参加費 無料(交通費等は実費負担)

その他 ○弁当・飲み物・敷物・雨具・健康保険証・着替え等を持参してください。

○2回目の帰途は二子玉川駅(東急田園都市線)から各自お帰りいただきます。

○小学生は保護者同伴でお願いします。

申込 3月7日(必着)までに、往復はがきに住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記し、公民館東分館(〒184-0011 東町1-39-1)へ。

月刊こうみんかん 市民投稿の話題を募集!

●「心に残った一冊・名画・音楽」

あなたのおきのお薦めを思い出や感想と共に掲載してみませんか?

●「世界の中の小金井」

海外出身の皆さんが住んでみてわかった小金井の魅力や、母国の魅力を教えてください。

●「地域を歩く」 ●「野川の野草」

月刊こうみんかん・公民館主催講座への感想もお待ちしております。



問合せ 公民館本館

(〒184-0012 小金井市中町4-15-14)

☎042-383-1184 FAX042-387-1226

✉k020499@koganei-shi.jp

募集

成人学校

「元気な歌声で小金井を明るくしよう(その3)」本町分館

懐かしの歌声喫茶で一緒に歌いましょう。

とき 3月13日(木) 午前10時～正午

ところ 公民館本町分館

講師 ささいはるみさん(歌声リーダー) 神野和博さん(アコーディオン奏者)

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 30人(申込順)

参加費 350円(コーヒー・ケーキ代)

申込 3月3日から電話または直接、公民館本町分館(☎042-383-1170)へ。



募集

音楽鑑賞の集い

「スプリングコンサート

エバリー(EVERLY)」貫井南分館

小金井市出身メンバーを中心に活動する音楽グループ【EVERLY】

春風と共にバイオリンの音色を奏でます。



とき 3月16日(日) 午後1時～3時

ところ 公民館貫井南分館学習室A B

出演 エバリー(EVERLY)

曲目 情熱大陸・見上げてごらん夜の星を・ディズニーメドレー・カノン～地球に優しい循環～等

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 50人(申込順)

申込 3月3日から電話または直接、公民館貫井南分館(☎042-383-1168)へ。

募集

成人学校

「ひがし子ども囲碁教室」東分館

囲碁を通してルールやマナーの大切さを学びます。経験者、初心者どなたでも参加できます。

日本棋院の検定で段や級を取得する子ども達も増え、各種の大会でも好成績をあげています。一緒に楽しく覚えませんか。

とき 4月5日～平成27年3月28日
毎週土曜日 午前10時～正午(年51回)

ところ 公民館東分館

講師 小金井うろの会

対象 市内小学生・中学生

定員 10人(申込順)

参加費 無料

申込・問合せ 3月17日から電話または直接、公民館東分館(☎042-384-4422)へ。



種まきから収穫まで 平成26年度 各公民館の野菜づくり講座募集

地域の畑で、講師のもと土おこしから収穫までの野菜作りを学ぶ講座です。

受講生共同で野菜を育てることで、仲間との親睦を深めましょう。

※同時に二つ以上の講座に申し込む事はできません。

※申込住所は、4面を参照してください。



講座名・定員	とき	ところ	講師	対象	費用	申込方法	主催 申込先	申込締切
成人学校 「菜園教室」 24人	4月9日～平成27年 3月18日の毎週水 曜日 午前10時から 正午（ただし、夏時 間等変更有）	ふれあい農園 （中町2丁目）	鴨下義昭 さん	年間を通して参加できる方	前期 3000円 （種苗・肥料 代等）後期 同額程度	往復 はがきに 住所 氏名 （ふりがな） 年齢 電話番号 を明記 （多数抽選）	本町分館	3/25 必着
成人学校 「江戸野菜に 親しもう」 24人	4月7日～平成27年 3月9日の毎週月 曜日 午前10時から 正午（ただし、夏時 間等変更有）	東京学芸大学 環境教育 実践施設 （貫井北町4丁目）	渡辺正志 さん					貫井南分館
成人学校 共働夢農園 「野菜作り コース」 35人	4月3日～平成27年 3月12日の毎週木 曜日 午前9時から 11時（冬季は時間変 更）	共働夢農園 （東町3丁目）	大谷信夫 さん				年間 6000円 （種苗・肥料 代等）	緑分館
成人学校 共働夢農園 「親子コース」 10組 20人	4月26日～7月19日 の土曜日 午前10時 から正午（全5回）			全5回参加 できる親子	1組 1000円 （種苗代等）	4/15 必着		

講座風景

貫井南分館「江戸野菜に親しもう」



東京学芸大学内の循環教育実践施設の一画をお借りして毎週月曜日に活動する貫井南分館の「江戸野菜に親しもう」。

今年で11年目を迎えるこの講座は、昨今メディアでも注目されている江戸野菜をメインに普段目にする野菜まで幅広く取り扱っています。

一年を通し“旬の野菜”の栽培を楽しみながら、暑さにも寒さにも負けない【菜活】をしてみませんか。

本町分館「菜園教室」



中町2丁目（東京農工大学東門近く）のふれあい農園にて、毎週水曜日、野菜作りを実施しています。

本教室の特徴は、①無農薬②収穫率平均8割③皆さんが熱心に参加④夏場は土曜日も班交代で水撒き⑤チームワークがよい⑥伝統がある⑦畑を愛している、です。

皆さんが協力して収穫した野菜は格別。この冬は6kgもある白菜が採れました。御参加をお待ちしています。

緑分館「共働夢農園」




「野菜作りコース」



「親子コース」とうもろこし作り

◆ 3月の公民館主催事業募集情報 ◆

詳細は市報〇月〇日に募集記事あり。公民館メールアドレス k020499@koganei-shi.jp
 ※ ITサポートは、(30日は全館お休み)各館にて毎週水曜日、日曜日の午後1時から午後3時。

小金井市公民館	公民館本町分館	公民館貫井南分館	公民館東分館	公民館緑分館
中町4-15-14 ☎ 042-383-1184 FAX 042-387-1226	本町2-15-11 ☎ 042-383-1170 FAX 042-387-1227	貫井南町4-3-23 ☎ 042-383-1168 FAX 042-387-1228	東町1-39-1 ☎ 042-384-4422 FAX 042-387-1229	緑町3-3-23 ☎ 042-387-7301 FAX 042-387-7300
☆市民映画会 「次郎物語」 市報3月1日号に詳細	☆成人学校 「元気な歌声で小金井を 明るくしよう(その3)」 市報3月1日号に詳細	☆音楽鑑賞のつどい 「スプリングコンサート」 市報3月1日号に詳細	☆成人学校 「野川を歩く」 市報3月1日号に詳細 ☆成人学校 「ひがし子ども囲碁教室」 市報3月15日号に詳細	

心に残った一冊

「怒りの葡萄」 ジョン・スタインベック著

長い間生きてくると心を揺さぶられ感動に震えた本は誰でも何冊か記憶にとどまっていることでしょう。

私もその中にジョン・スタインベックの「怒りの葡萄」は強烈な印象を今もって持ち続けている一冊です。

1930年半ばのアメリカ大飢饉の時代、富める葡萄農家のもとに職を得た最下層の日雇い労働者の不屈の人間像を描き出しており「葡萄酒作り」に踏み潰される葡萄は小作人最下層の人間として描写されていました。トラックでルート66を砂嵐の中、収穫作業に向かう家族、そんな必死に生きる労働者達の前に広大な農園と緑の土地が広がっている。その大きな差に読み進むのが惜しい……でも先を読み進めたいと思った本だったと今も思い出します。(市内在住 A. Oさん投稿)



私の散歩道



前原坂上から小金井街道脇の質屋坂を下り、多磨霊園を目指します。霊園内、小金井門から名誉霊域通りの北側あたりまでが小金井市、その先は府中市です。

この通りには大きな墓が並んでおり、北原白秋、東郷平八郎、山本五十六などが目を引きます。

名誉霊域通り北の供養塔は昭和15年建立の銘があり、この年は皇紀2600年にあたると同年生まれの母が話していたのを思い出します。

文化人が数多く眠る霊園ですが、軍人も目立ち、戦争の重苦しい影を自然と感じます。

旧ソ連のスパイ、リヒャルト・ゾルゲは多磨霊園に葬られ、歴代ロシア大使が墓参に来ると聞き、案内図を頼りに探したことがあります。意外にも外国人墓地ではなく、名誉霊域通りの比較的近くでした。

戦争末期に処刑、ここに埋葬されたのは戦後とのことで、それなりの物語があったと窺えます。

戦時下の敵味方が近くに眠っていることにやや違和感もありますが、死者には敵味方もなく、みんな平等と教えているように思います。(市内在住 S. Yさん投稿)

第487回 市民映画会

「次郎物語」

(1987年、森川時久監督、115分)

キャスト：加藤 剛、高橋恵子、
伊勢将人 (次郎役)



「人をうらむことではなく、自分に勝つことこそ本当に勝つことだ」

先生の言葉に、いじめを乗り越えて成長していく次郎の物語。

作者の下村湖人は、小金井ゆかりの教育者。青年団講習所(旧浴恩館・現在の文化財センター)の所長を以前務めながら、自伝的な小説、次郎物語を書いた。

多くの人々に読み継がれ、鑑賞され、今や古典となった次郎物語をお届けします。

と き 3月15日(土)

① 午前10時30分～

② 午後3時30分～

ところ 公民館本館視聴覚室
(福祉会館4階)

入 場 無料 当日直接会場で先着70人
いずれも30分前開場

問合せ 公民館本館 (☎383-1184)